

全日近況

教頭 荒木 雅浩

翌日の再試合はコールド負けにはなったものの、最後まで諦めない生徒達の戦いは応援するものの胸を打った。また、この試合から育友会で作成された応援旗「心を一つに湧き起こる力」がスタンドに飾られ、生徒達の熱戦に花を添えた。6月27日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、会長候補に1名が立候補し、信任投票で吉田英羽さんが新しい生徒会長に信任され、2年連続で女子の生徒会長が誕生した。新生徒会執行部も各行事の企画運営に積極的に取り組む、充実した活動を行っている。7月1日(火)から3日間、2年生はインターシップを実施した。全ての生徒が企業での職場実習を行い、望ましい勤労観・職業観を身に付けた。学校を離れ日頃と違った環境で仕事を体験したことは貴重な機会となった。生徒達の感想の多くは充実した3日間であったという内容であり、今後の進路決定に向けて良い影響を与えている。10月10日(金)、東京より劇団「風」を招いて「ハレンケラー」ひびき合うものが上演された。生徒達は劇団の方々の役に入り込んだ迫力ある演技に引き込まれ、約2時間の上演中時間を忘れてたように見入っていた。生徒達にとって本物に触れる貴重な体験であった。また、最後の挨拶で劇団の方からも鑑賞態度のよさを褒めていただいた。翌11日(土)、第23回文化祭を実施した。大会テーマ「新たな飛躍 YOUNG PRIDE」のもと、勇壮な湧心太鼓のオープニングに始まり、ステージ発表やクラス展示に若々しい感性が表現された。特に、午前中のステージ発表は年々完成度も上がっており、生徒達も拍手を送った。手を取って、歓声が上り、感動的な一日となりました。本校代表大久保星蘭が堂々と発表し、県代表として全国大会に出場、健闘しました。



生徒達も拍手を送った。

定時近況

教頭 西村 博生

本校代表大久保星蘭が堂々と発表し、県代表として全国大会に出場、健闘しました。

○第64回県定通文化大会(10月)のオープニングは、恒例の本校太鼓部が飾りました。勇壮で魂を揺さぶる太鼓の響きは圧巻でした。本校はステージ発表で「伝統と創造のコーポレーション」と題して和楽器(琴と笛)と書道、絵画のパフォーマンスを披露しました。情報科学科のランタイムショーも盛況でした。文化の秋に相応しい正に文化の薫り高き秋の一日になりました。

○くまもと教育の日「異世代間交流による地域の方との調理交流会」(11月)では、今年も出水南地区の方々と共に「寿司」

本年度、定時制は61名の新入生を迎え、生徒数154名(男85名、女69名、昨年比6名減)で出発しました。

○第64回県定通文化大会(6月)では、8月の全国大会に、サッカーが2年連続で切符を手にしました。ソフトテニス男子は中武慧悟・前崎秀世ペア、剣道女子個人は榎木里沙、平山遥菜が卓球個人女子の永戸葉子、同男子篠原拓雄、中野裕弥が全国大会に出場し健闘しました。特に今年は軟式野球が県大会を制して西九州大会に駒を進め、決勝で長崎県代表に逆転で惜敗しました。今年は、多くの種目の活躍で遠征費の会計が火の車になりました。嬉しい悲鳴ではあつたのですが急遽、振興会からお茶の物販を実施しました。各面、同窓会、保護者の皆様、全定通の先生方からのご理解御協力でお金を有効に使わせて頂きました。来年以降も続けたい。来年以降も続けたい。来年以降も続けたい。

「さつまいものレモン煮」などの調理体験を通して食文化の継承と地域との交流を楽しみました。地域との相互理解コミュニケーションが深まる有意義な体験となりました。

○第7回湧心祭(11月)は、今年も全クラスが独自のテーマを持って参加した素晴らしい行事となりました。生徒・保護者・職員が共同制作したモザイクアート「阿蘇草千里」がステージを飾りました。恒例の竹あかり「湧心の灯」は体育館前を暖かく照らしました。年末には、今年も校門付近を竹明かりで照らして、地域の皆さんに楽しんで頂きました。その他にも、湧定のうた、男女装コンテスト、ステージ発表、展示、バザーなども大盛況に終わりました。多くの地域の方々や全日制の生徒をはじめ生徒の校外での友人も見に来てくれて、楽しい思い出づくりができました。

通信近況

教頭 富田 孝一

本校代表大久保星蘭が堂々と発表し、県代表として全国大会に出場、健闘しました。

○6月8日、「第64回県定通総合体育大会」が本校及び熊本工業高校を会場として開催され、ソフトテニス女子、卓球女子、バレーボール女子が団体優勝、個人戦でもバドミントン女子ダブルス、ソフトテニス男子女子、卓球女子が優勝、僅かな練習期間というハンディを乗り越え、輝かしい成果を上げました。その結果、8月に開催された「全国定通総合体育大会」には、バドミントン、ソフトテニス、バレーボール、卓球の4競技に選手20名が出場、ソフトテニス女子個人戦の住田・高木ペアがベスト16に入るなど大健闘しました。

最後に残りですが同窓会に頂いた太鼓は湧心太鼓として大活躍です。地域の行事や施設の慰問等で学校と地域を結ぶ橋渡しに貢献しています。

これからも同窓会の皆様方の指導、ご支援をよりお願い致します。

通信制は、今年度から新入生・転編入生ともに前期(4月)、後期(10月)の年2回入学となりました。新入生数は90名(前期79名・後期11名)、転編入生数は15名(前期87名・後期64名)、活動生総数655名(12月現在)です。

○4月13日の入学式では、小林博校長が式辞の中で、通信制を卒業するための秘訣として「規則的な生活を送ること」、「心を明るく保つこと」、「相手が喜んでくれることを心で込めて行動すること」の三つを上げて、健康・感謝・誠実の一つでも意識して行動すれば卒業することができると話されました。これを受けて、新入生代表の濱口祐規さんが、通信制で学ぶ決意を力強く宣誓しました。

○前期スクーリングは、本校が4月20日、協力校は4月27日から開始され、気持ちも新たに通信制の学習がスタートしました。

○10月5日の「文化発表会」では、歌・三味線演奏等のステージ発表、美術・書道・生活クラブ等の作品展示、招聘企画「くまもとの外来生物展示」(熊本県松橋橋蔵庫)、「電動モビリティ講演会」(熊本県産業支援課)等が行われ、生徒が自ら企画し体験できる生徒会活動の場として、貴重な機会となりました。

○10月12日には、「県定通文化大会」が県立劇場で開催され、生活体験発表の部では、通信制代表の野田愛美さんが自らの体験や思いを、聴く人に心地よい口調で語りかけ、聴衆の心に深い感動を与えました。

○10月16日、今年度からの新企画「生徒研修旅行」(生徒

通信制では、「後期新入学」導入に係る周知徹底、生徒の定着率向上及び生徒の進路実現を図っており、「体験入学・中学校訪問」、「学校HP等を活用した広報・募集活動」、「学習会を活用した生徒の自学自習力及び自主性の育成」等の推進に努めています。昨年度に比べ、今年度導入した「体験入学」の参加者数も順調です。

今後更に、テレビ会議システムを利用した「遠隔授業」の運用を目指して積極的に推進する予定です。

どうぞ、今後とも、同窓生の皆様方の御指導・御支援を賜りますようお願いいたします。

お知らせ

- 副校長に前通信制教頭の那須寛先生が定期異動で本校に勤務されています。
- 平成二十七年行事予定
- 4月8日(水) 入学式(全日制)
 - 4月9日(木) 入学式(定時制)
 - 4月12日(日) 入学式(通信制)
 - 5月16日(土) 体育大会(全日制)
 - 6月7日(日) 県定通文化祭
 - 9月20日(日) 前期卒業式(定時制・通信制)
 - 10月1日(木) 後期入学式(通信制)
 - 10月4日(日) 文化発表会(通信制)
 - 10月10日(土) 湧心祭(全日制)
 - 10月11日(日) 県定通文化大会
 - 11月6日(金) 湧心祭(定時制)
 - 3月1日(火) 卒業式(全日制)
 - 3月5日(土) 卒業式(定時制)
 - 3月6日(日) 後期卒業式(通信制)

お願い

会員の身上に、変更(住所や氏名等)が発生した場合は、速やかに同窓会事務局へ！

電話 096・372・5311
Fax 096・364・9382

ホームページの問い合わせフォームからどうぞ

編集後記

会員の皆様は「江極だより」二六号をお届けいたします。今号は、三五年目を迎えた母校の近況と同窓会役員改選・卒業生の近況など掲載しましたのでご覧下さい。皆様のご意見ご感想等、同窓会事務局までお寄せいただければ幸いです。

江極編集委員会

